

「自動ロックウェル硬さ試験機」を導入しました

当社は本年8月、川崎製造所（神奈川県川崎市川崎区）において、新たに「自動ロックウェル硬さ試験機」(*)を導入いたしました。

※ロックウェル硬さ試験＝金属の硬度測定方法の一つ。試料に圧子を一定の荷重で押し付け、その時のくぼみの深さから硬さを算出する。

当社における従来の硬さ試験においては、試験プロセス（試験指示、実施、結果入力）の中で人が介入する場面が多く、検査データの信頼性向上のためにも、自動化を含めた試験検査システムの改善が求められていました。

今般導入した「自動ロックウェル硬さ試験機」では、上位システムより試験条件・規格等を取り込み、自動測定がおこなわれ、測定結果についても所定のサーバー・端末に自動送信される仕組みとなっています。これにより、試験の指示から結果入力まで人手の介入が無くなるため、検査データの信頼性がより向上します。また、自動化によって人の負荷も軽減され、省力化が図れます。

当社では各工程において各種の試験検査が実施されていますが、作業の効率化および測定結果の信頼性向上を図るべく、試験検査システムのさらなる改善に努め、品質保証体制の強化を図ってまいります。



「自動ロックウェル硬さ試験機」（安全上、スチールフレーム・ガラス扉で囲まれています）